

西小学校の沿革

【西畑小学校の沿革】

明治 7年	小苗、板谷、田代、宇筒原にそれぞれ小学校創設
明治10年	弥喜用、紙敷に小学校設置
明治22年 9月	紙敷、板谷、田代、宇筒原の各小学校を尋常小学校と改称
明治32年	西畑高等小学校を創設し、紙敷尋常小学校校舎使用
明治34年	西畑高等小学校校舎を現在地に新築
明治41年 3月	西畑尋常高等小学校を設置
大正 2年 2月	第三校舎増築、板谷、紙敷両校舎を廃校
昭和16年 4月	西畑村国民学校と改称
昭和22年 4月	西畑村立西畑小学校及び田代分校、宇筒原分校とそれぞれ改称
昭和29年 10月	町村合併により大多喜町立西畑小学校と改称
昭和42年 6月	25mプール落成
昭和54年 2月	校歌制定
平成 5年 3月	新校舎完成
平成 5年 4月	田代・宇筒原分校を本校に統合
平成 5年 7月	新校舎竣工式
平成 6年 6月	ローラースケート場、校門、校庭フェンス等 外構工事完成
平成16年 3月	大多喜町基礎資料データベースシステム導入
平成24年 3月	屋内運動場落成

【老川小学校の沿革】

明治 7年	大田代、筒森に小学校設置
明治 8年	小沢又、小田代に小学校設置
明治20年	面白尋常小学校筒森簡易課を設置
明治44年	高等科設置
昭和16年	老川国民学校と改称
昭和22年	老川村老川小学校と改称 会所分校設置
昭和29年	町村合併により大多喜町立老川小学校と改称
昭和41年	小田代535番地の2 旧老川中学校校舎に移転
昭和43年	プール竣工（25m6コース）
昭和46年	鉄筋2階建て校舎1連を新設 小沢又分教場を本校に統合
昭和49年	体育館落成
昭和59年	校歌制定（作詞 池田充男 作曲 平川浪竜）
平成 8年	校庭拡張工事完了
平成13年	新校舎完成 会所分校本校に統合
平成14年	新校舎 平成13年度 第8回 千葉県建築文化賞受賞 平成14年度 学校優良施設表彰校 文部科学大臣奨励賞受賞
平成18年	職員室、教室にコンピュータ有線LAN設置
平成21年	学校ピオトープ設置工事完了

【西小学校の沿革】

平成25年 4月	大多喜町立老川小学校と大多喜町立西畑小学校が統合 大多喜町立西畑小学校校舎を大多喜町立西小学校に改称する
平成26年 3月	西小校旗完成
平成27年 4月	学校用務員配置
平成28年 4月	「JA学童農園推進事業実施校」指定（～平成30年度）
平成29年 3月	プール更衣室完成
平成30年 3月	バス停留所待合室、自転車小屋設置
平成30年 4月	「食育指導推進拠点校」指定（～平成31年度）
平成31年 4月	「JA食育活動支援事業実施校」指定（～令和2年度）
令和元年 6月	教室にエアコン設置（8学級）
令和2年 7月	スクールサポートスタッフ配置
令和3年 4月	「食育推進事業実施校」指定延長
令和3年 7月	校舎内の洋式トイレ設置、自動水栓設置工事完成
令和3年11月	千葉県教育功労者（学校教育団体の部）表彰
令和4年 2月	教室に清掃用具入れ設置（6学級）
令和4年 4月	スクールサポートスタッフ配置
令和4年 5月	学習サポーター配置、11月千葉県教育委員会（学校給食優良学校）表彰
令和5年 4月	理科専科講師配置
令和5年 9月	野外運動場改修工事完了

学区の概要

本学区は、大多喜町の西部に位置し房総丘陵に囲まれた山間地域である。県内でも3指に入るほどの広い学区面積を持つ。そのため、遠距離通学の児童が多いことも本学区の特徴である。現在、学校から最も遠い児童は15.2kmである。かつては、林業、農業が主たる産業であったが、近年は、隣接する市町村の会社に勤めながら農業を営む兼業農家がほとんどである。また、地域の特長を活かして、筍や椎茸栽培などにも力を入れており、春先には筍狩りの観光客で大いににぎわう。また、老川地区の養老渓谷周辺は年間を通じた観光名所として観光客が多数訪れている。特に、紅葉のシーズンは大変な賑わいを見せる。

教育環境としては、町中心部から離れていることや交通の不便さという点はあるが、学校は四季折々の豊かな自然の中に立地しており、学校教育活動に理解ある保護者・地域の方々に支えられている。また、PTA活動も盛んで奉仕活動等にも積極的である。

学校教育目標

自ら学び
心身ともにたくましく
互いに高め合う
児童の育成



【目指す児童像】

自ら学び、よく考え、
自分の考えを表現できる子
夢いっぱい

心豊かで、
思いやりのある子
笑顔いっぱい



健康で、
がんばりぬく子
元気いっぱい



経営の基本方針

児童が未来への夢や希望を抱き、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、個々の良さを認め、さらに引き出す支援・援助に努め、地域とともに歩む学校づくりに努める。

めざす学校像

- ・学ぶ楽しさを実感しながら、「確かな学力」が身につく学校
- ・豊かな心が育ち、児童が主体的に活動する学校
- ・保護者や地域と連携し、ともに子どもを育てる学校

めざす教職員像

- ・子どものよいところを見つけ、一人一人を認め励ます教職員
- ・子どもの命と健康を守る教職員
- ・絶えず自己研鑽に努め、わかる・できる授業づくりを実践する教職員
- ・「チーム学校」の一員として、互いに連携、協力し合う教職員
- ・「働き方改革」を意識し、子どもの指導にあたる時間を最優先する教職員

研究の概要

研究主題

「思考し、表現する力」を高める学習指導

研究目標

問題解決に必要な情報を文章題から集める手立てを工夫したり、図を活用したりすることで、算数科における思考力・表現力を育む指導の在り方を追求する。



研究仮説

情報から問題把握する手立てや、図のかき方やよみ方を学ぶための指導を行い、自力解決できる場を設けることで思考力・表現力を身につけさせることができるであろう。

入学式
(4月)



運動会(6月)



自然観察会(7月)



紅葉プロジェクト
(3月)

